

第57回 明科いいまちサロン 平成30年4月24日(火)10時～12時 明科公民館講堂於
「明科のまちづくりを皆で考えましょう！」

講師：宮下 明博 市議会議員 ・ 松枝 功 市議会議員



お茶受けは 黒豆寿司、野菜の朝漬け



宮川副代表から黒豆寿司のつくり方について



お茶を頂きながら歓談



お茶を頂きながら歓談



浅見サロンPJリーダーから講師紹介



講師の宮下市議と松枝市議



宮下市議より3月定例会が過日閉会し、402億7千万円の新年度一般会計当初予算が決定した。明科南保育園10億円、社会保障費もこの10年間で倍以上に増えている。明科中学校の入学式では新入生は64人であった。小学生は50人程度である。自分の時代は7クラス350人程度いた。少子高齢化が進んでおり、健康長寿を目指してのまちづくり求められている。明科の課題では、駅周辺の整備事業、歩道整備事業が同時に行われる。5年後には、大分様変わりされると思う。明科認定保育園11億2千万円(周辺整備及び安全対策費を含む) 上水道事業について、川東地区の配水池の耐震性が確保されていない(5年計画17億3千万円)、漏水対策としての管の敷設替え(2億円)、明科地域は地形的に効率が悪い、10㎡までは市内同一であるが超えた場合は明科が一番高い。2020年オリンピック、前川にはカヌーもコースがある。オーストリアのホストタウンとして交流を。長峰荘について統廃合の流れになっている。29年の譲渡が廃止は1年延ばして、検討して欲しいとの事である。29年度の補正予算で830万円とし、30年度を迎えた。なるべく赤字を少なくしようという事で塚原緑地へお願いすることとなった。何とか存続させたい。福祉施設の関係で交渉したい。皆さんに長峰荘を大いに使って貰う事が必要 南部総合公園・体育館は上限38億円合併特例債を使う事になっていたが、社会資本総合整備事業補助金も加えて防災関係の整備をしながら建設する。38億が7億程度でできる。安曇野インター周辺の開発計画も進め、自主財源を増やす事が必要である。



私は、市民との連携を中心に活動している。長峰荘について、合併前に整備出来る体制ではなかった。利用者も50人ほど減少している。整備をして貰い相続したいのが地元の考えであるが、市の10年計画案では、30年度廃止が譲渡であったが、区長会、盛上げる会が中心になっての署名活動により、4500名を超える署名により先延ばしとなった。今年中に決めたい。案を成案になるのが今年、地元の合意を得ずに方針を決めるのは問題がある。あきらめたら駄目である。長峰荘を盛上げる会が作られている。29年度区長会のメンバーが中心になって今後の事を検討している。①全市民的議論を ②明科地域の皆さんの議論を ③大勢の人の意見をまとめる。その為の窓口を秋口までにつくる。5月6日9時から長峰荘の外構の環境整備を2時間程行い、その後参加者皆で話し合いをし、1年間に方向付けする組織をつくる。(市とキャッチボールできる) 市長の答弁の中で、地域に愛される施設、地域の皆さんが携われる施設、株式会社として運営に地元民が参加するような施設(市民が運営)等とは発言されている。市民の声を集めて進めることが必要である。明科駅前の整備について、商業のカナメ、18億円かけて、アップルランドがどうなるのか、アップルランドは単独で駅北側へ移転したい、駐車場はどうなるのか、現在の焦点の皆さんとの調整は、現アップルランドは解体する。南保育園→認定保育園 将来的には北保育園と一緒に。北保育園はどうなるのか 未満児の受入れ、クジラ雲を?、松糸道路について、県よりA・Bルートが提示され、その後Bルートが発表さえ、反対意見が出され前へ進んでいない。市では、Aルートを含めルートを検討するよう県へ申し入れをした。メリットについて地元へ話をする必要がある。地域環境整備について、市道の規格は全幅5mが必要となっており、話が進まない。地域事情による規格の変更することも必要である。



小林陽子市会議員

松枝 功市会議員より、この会へ小林陽子市会議員が参加しているので、皆さんに紹介をする。

小林陽子 市会議員よりあいさつ

- ・ 農業を次世代へ(農業振興)
- ・ 地域を築いた先輩方の功績を若い世代が引き継ぐ若者が活躍できる環境づくり
- ・ 地域づくり



宮川副代表の司会により参加者との意見交換を行う
参加者5名の皆さんから夫々質問が出され、宮下議員、松枝議員より丁寧に回答されました。



安井公民館長からお礼の言葉



宮下さんの指揮で我が町を合唱

新年度が始まりました。今回は、明科地区のお二人の議員さんをお迎えして、3月定例会の状況、明科地域の諸課題について語って頂くという機会を設けましたところ、63名の市民の皆さんの参加をいただきました。

夫々明科地域の諸課題についての現況、今後の進め方等について話され、長峰荘の存続についても、地域住民の意見集約、住民全体の利用度の増大、交渉窓口の設置等住民自らがこの問題についての共通の認識を強く持ってこれからの1年間を歩まなければならないと感じました。